



令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果概要 と 金程小学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本校は、コミュニティ・スクールとして、教職員と保護者、地域住民が子どもの成長を支え応援する“地域と共に子どもたちを育む学校”づくりを推進しています。

本年5月27日（木）に6年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査について、本校の「学校教育目標」「めざす子どもの姿」「資質・能力」を踏まえ、3本の柱に沿って学校づくりに生かす視点から分析を行い、今後の取組について報告いたします。

1. 自立

2. 協働

3. 創造

【学校教育目標】：「自分のよさを伸ばし、共に支え合い、よりよい社会を創造する“学び続ける子ども”の育成」

【めざす子どもの姿】：「主体的に考える子」「共に支え合う子」「自分から行動する子」

【資質・能力】：「自ら学ぶ力」「人間関係形成力」「自律的活動力」

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面であり、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標です。本校の教育活動に対しまして、保護者・地域の皆様のご理解をお願い申し上げます。

I. 調査結果の概要と分析、今後の取組

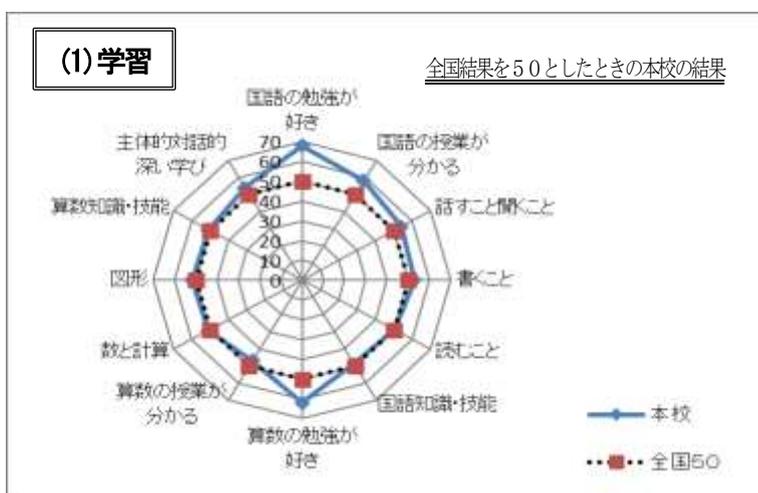
(1) 学習に関する状況について

★教科に関する調査 ②③ ⇒平均正答率を表示しています

★質問紙による調査 ①④

「A 当てはまる」「B どちらかといえば当てはまる」「C どちらかといえば当てはまらない」「D 当てはまらない」⇒ABの合算値を

★金程小% (全国%) 表示しています



① 国語科・算数科の授業

- ・国語の勉強が好き 76%(58%)
- ・国語の授業が分かる 92%(84%)
- ・算数の勉強が好き 79%(67%)
- ・算数の授業が分かる 81%(84%)

② 国語科

- ・話すこと聞くこと 81%(77%)
- ・書くこと 63%(60%)
- ・読むこと 47%(47%)
- ・知識・技能 67%(68%)

③ 算数科

- ・数と計算 64%(63%)
- ・図形 59%(57%)
- ・測定 76%(74%)
- ・知識・技能 75%(74%)

④ 主体的・対話的で深い学び

- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。 82%(78%)
- ・友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができる 82%(78%)
- ・授業で学んだことを、つぎの学習に生かしている。 82%(78%)

1. 【自立】の観点 ～ ‘自ら学ぶ力’の育成～

本校では、学習に見通しをもち、自分の考えを既習内容や友達のと関連づけながら深め、問題解決の過程をふり返ってさらなる学びへと向かう「主体的に考える子ども」の育成を目指しています。

「①分かる」授業づくりに関する調査では、「国語の授業が分かる」(92%)、「算数の授業が分かる」(81%)という回答が得られました。どちらも高い数値が示され、良好な状況と考えています。また「算数の問題が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考える」という質問では88%と「分かる」ために前向きに取り組む姿勢が見られます。日頃から授業展開、発問や教材の工夫に励み、授業力の向上をめざしてきた成果が現れています。今後も、子ども達が自分の考えをもち、進んで発信し、それらを繋げていく学習展開を心がけてまいります。

教科に関する調査では、「②国語科」「③算数科」のほとんどの観点において、全国の平均正答率を上回っており、よい状況と考えます。そして、「④主体的・対話的で深い学び」に関連する項目の割合が高いことが本校の特長であるといえます。これらの成果の要因は、日々の授業において自分の「めあて」をもち、互いの考えを交流し深めたり広げたりするとともに、新しい学びやさらに追究したいことを「ふり返る」活動を重視しながら、「自ら学ぶ力」の育成に努めてきた点にあると考えます。そのような中で、「②国語科」の「読むこと」の観点は、平均正答率が47%であり、習得状況に課題が見られました。文章を読む際には、言葉を手掛かりにしながらか話の筋をたどり内容を理解する必要があります。そのためには、文章中の言葉に着目し、気付いたことを交流しながら理解を深めていく学習活動を設定していくことが大切だと考えております。 【*今後の目標：「読む能力」の育成】

(2) 生活や自分自身に関する状況について

★質問紙による調査 ①～⑧

「A 当てはまる」「B どちらかといえば当てはまる」
「C どちらかといえば当てはまらない」「D 当てはまらない」⇒ABの合算値を表示しています

★**金程小%** (全国%)

① 基本的な生活習慣

- ・朝食を毎日食べている **95%(94%)**
- ・毎日同じくらいの時刻に就寝する **91%(81%)**
- ・毎日同じくらいの時刻に起床する **94%(90%)**

② 自己有用感

- ・自分にはよいところがあると思う **82%(76%)**
- ・人の役に立つ人間になりたい **97%(95%)**

③ 挑戦心

- ・難しいことも挑戦している **80%(70%)**
- ・将来の夢や目標をもっている **86%(80%)**

④ 達成感

- ・自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表せますか **76%(70%)**
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか **83%(70%)**
- ・友達と協力するのは楽しいですか **93%(93%)**

⑤ 規範意識

- ・人が困っている時は進んで助ける **94%(88%)**

⑥ 学習習慣

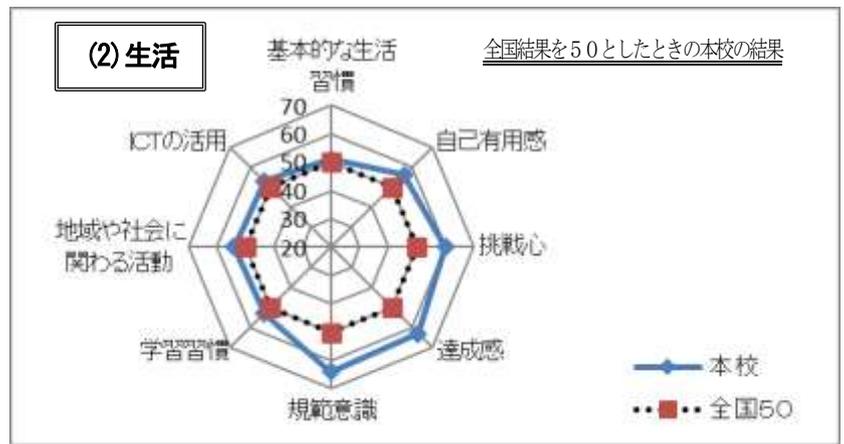
- ・家で自分で計画を立てて勉強する **71%(74%)**
- ・月曜日～金曜日、1日当たり30分以上読書をしている **38%(37%)**

⑦ 地域や社会に関わる活動

- ・地域の行事に参加している **62%(58%)**
- ・地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがある **52%(52%)**

⑧ ICTの活用

- ・5年生までに受けた授業の中で、ICTをどの程度使用しましたか。 **31%(40%)**
- ・学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強に役立ちますか **97%(94%)**



2. 【協働】の観点 ～ ‘人間関係形成力’の育成

「②自己有用感」では、「自分にはよいところがある」と答えた割合が82%と良好な状況と考えています。また、多くの子ども達が「③難しいことでも失敗を恐れず挑戦」し、将来の夢や目標をもって意欲的に生活していることが分かります。「④達成感」では、「自分と違う意見」を大切に考え、「友達と協力する」ことを楽しいと感じている子が多いことがわかります。学校生活の委員会活動など、友達と協力し関わりながら活動を充実させていることが「達成感」「やりがい」につながっていると考えられます。これからも、子ども達一人一人が役割や責任をもって行動できるように価値付け、活動する場を保障し、仲間と協力しながら最後までやり遂げることによって、喜びや充実感を味わう体験を積み重ねていくように支援していきたいと思えます。そして他者を尊重したり、多様な立場を理解したりできるように、相手の意見を聞いて自分の考えを分かりやすく伝えていくことで‘人間関係形成力’の育成に努めていきます。

[*今後の目標 : ②③④⑤の各項目に関して、今年度比±5%以内を保持]

3. 【創造】の観点 ～ ‘自律的活動力’の育成～

「⑦地域や社会に関わる活動」では、例年よりも低い数値となりました。これは、感染症対策のため多くの行事を体験することができなかったことが要因と考えられます。金程小コミュニティ・スクール委員の方々に協力いただいている農作業など、少しずつ再開されている体験的な学習活動、学校行事、地域行事に積極的に参加し、地域の方々や保護者の方々との温かなふれあいを体験することで、子ども達の心の中に、地域への親しみと地域を大切にしたい気持ちが育まれていくと考えています。

「⑥1日あたり30分以上読書をしている子」の数値は令和元年度より下がりました。書物や新聞に対する興味・関心を高めるために、学習の中で効果的に活用する活動を推進し、読書の楽しさを味わえるようにしていきたいと思えます。また、「⑧ICTの活用」では、今年度から活用が始まったGIGA端末のことが顕著に数値にも表れています。GIGA端末は情報の収集、発信だけでなく、友達と情報を共有することもできます。有効なツールとして効果的に活用すると共に、情報モラルの確認などICTを活用する時の心構えを徹底していきます。また教科の学習だけでなく、1～6学年の系統性を考慮しながらプログラミング学習も進めていきたいと考えています。今後も、より多くの経験から見聞を広め、自己を調整し主体的に行動する‘自律的活動力’の育成に努めていきます。

[*今後の目標 : 読書活動の充実 (継続)]

II. 未来を創造していく“学び続ける子ども”の育成をめざして

本校は、「よりよい学校教育がよりよい社会を創る」という理念のもと、教育目標やめざす子どもの姿を学校と家庭、地域が共有し、これからの社会を創る子ども達に求められる資質・能力を明確にして、地域社会と協働しながらその実現をめざす「社会に開かれた教育課程」を推進していきます。引き続き、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

教育委員会より 「自ら学ぶ力」の育成を目指して、問題解決的な学習の流れを大切に授業づくりを推進しています。こうした授業改善の取組が、進んで学び合う子ども達の姿につながっているととらえています。また、子ども達の自主的・自発的な活動を大切に、自己有用感を高める取組が子ども達一人一人の自尊感情を育てているものとうかがえます。 麻生区・教育担当